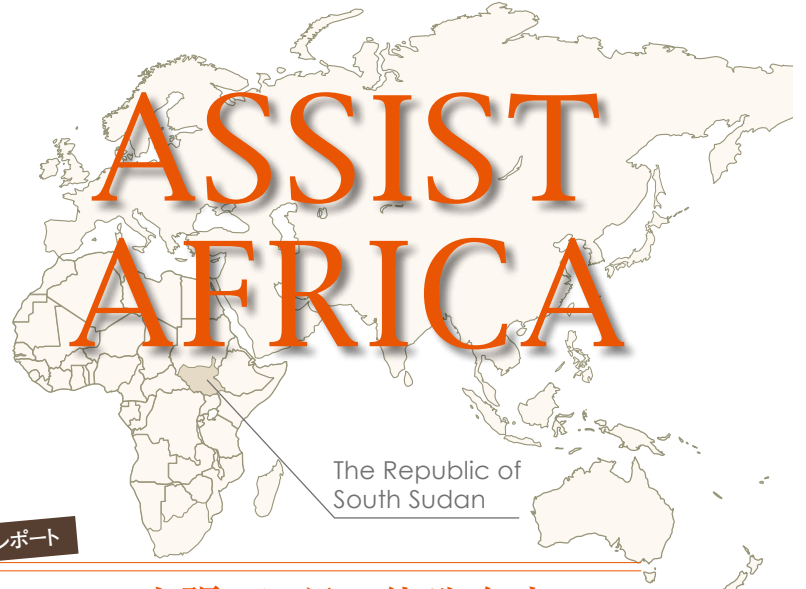




グンボ国内避難民キャンプにいらす子どもたち。



ピースウィンズ・ジャパン現地レポート

初めてのアフリカ出張・8回目の停戦合意

アシスト南スーダン!

今、世界でもっとも多くの国内避難民・難民を抱える南スーダン。その現状が日本に伝えられる機会は少なく、知るすべも限られている。未知の国・南スーダンで何が起り、今どうなっているのか? タウトク編集部では、NGOピースウィンズ・ジャパンの協力により、その現実の姿を伝えていきます。支援活動続ける同スタッフの奮闘のレポートを紹介しつつ、南スーダンが抱える問題を少しずつひもとき、少しでも身近な出来事だと感じられるようにしたい。

株式会社メディコムでは、読者の皆さんにタウトクを1冊(350円)購入いただくにあたり、その約1%である3円を、南スーダンをはじめアフリカの復興支援のために送金します。

「支援している」という高みに立った目線ではなく、積極的に関わり合いをもつことで現地の様子が気になるようになり、やがて世界で起こっているいろいろな紛争や悲劇と、自分たちは決して無縁ではないことを肌で感じるための「3円」だと思っています。ぜひこの1%運動をご理解いただき、本誌連載にご注目ください。

PWJの携帯サイトはこちら!



世界各地で支援活動続けるスタッフからの「現地活動ルポ」、最新のNEWSなどの情報が携帯からチェックできるようになりました! 左のQRコードからアクセスしてみてください!
<http://www.peace-winds.org/m/>

タウトクでは毎月、南スーダンの国内避難民・難民支援事業へ送金した金額=タウトクの販売部数×3円を読者のみなさんにお知らせします。

タウトク8月号の販売部数

5,725部×3円=17,175円

を支援金としてPWJを通じ南スーダンの国内避難民・難民支援事業に送りました。

ご利用明細書	
お振込先	株式会社メディコム
お振込先住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
お振込先口座	口座番号 00000000000000000000
お振込金額	¥17,175
お振込日	2017年8月10日
お振込元	ピースウィンズ・ジャパン
お振込理由	南スーダン国内避難民・難民支援事業
お振込手数料	¥3,000
お振込合計	¥20,175
お振込口座	00000000000000000000
お振込先住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
お振込先電話番号	03-3555-1111
お振込先Eメール	info@medicomm.jp

peace winds JAPAN

月刊タウン情報トクシマ

タウトク

medicomm inc
株式会社メディコム
月刊タウン情報トクシマ編集部

はじめまして。今年4月から広島本部事務所であフリカ事業担当となりました竹中と申します。日本ではうだるような暑さと湿気の8月半ば、初めてアフリカ出張に行ってきました。個人的にも人生初のアフリカ訪問です。降り立ったケニアのナイロビ空港では思いのほか爽やかな風が迎えてくれました。アフリカというと、灼熱と乾燥の大地、というイメージをもっていました。8月のナイロビは冬の終わり。一年を通して平均気温が20度程度のナイロビで、更に気温の低い時季にあたります。日中は日差しが強くなることもありますが、朝晩は涼しいというよりも、フリースが欲しくなる寒さでした。

PWJは現在、アフリカで3つの事業を行っています。ケニア国内では、北東のソマリア国境付近でのダダーブ難民キャンプ支援、北西部のカクマ難民キャンプ支援、そして隣国南スーダンでのジュバ国内避難民支援です。今回の出張では、この3事業のうちジュバの事業地視察が主な予定でした。

「予定でした」と書いた通り、結局今回ナイロビから南スーダンのジュバに渡航することができませんでした。8月17日、政府と反政府勢力との和平協定が締結される予定を前に、キール大統領が州知事5名を突如罷免し署名を延期したため、大規模な抗議行動が起きるおそれがあったためです。国際機関やNGOのスタッフは入域を控えるようにと、国連の治安担当から通知もあり、渡航を断念しました。

私の初めてのアフリカ出張は、ナイロビ滞在のみとなり、残念ながら事業地を見ることはできませんでした。それでも、3事業の駐在員が揃っているナイロビに滞在することができ、駐在員たちから直接、事業について詳しい話をたくさん聞くことができました。普段はメールでのやりとりですが、顔を合わせて話をすることがいかに重要かということを実感しました。駐在員がどのような想いで事業に向き合い、日々努力を重ねているのかということが、言葉の端々や表情から伝わってきたからです。

その後、8月26日にキール大統領は和平協定に署名しましたが、「条件付き」との内容でした。署名後、72時間以内に軍を撤退させなければならないことになっていますが、この期限が守られなければどうなるか…。実はこれまで双方は、7回にわたって停戦合意のための和平協定を結んでいますが、その度戦闘は再発してきました。今回も、署名2日後に戦闘があったとの情報もありました。南スーダン情勢は、相変わらず先を見通すことが難しい状況です。

今度こそ、和平協定が守られて平和が訪れるかもしれない。そんな希望を持っては裏切られ、という思いを、私たち援助関係者もそうですが、故郷を離れて避難を強いられている200万人の南スーダンの人々は幾度となく繰り返し持たれてこられたことでしょう。それでも、今度こそ、と願わずにはいられません。

アフリカ事業担当 竹中奈津子



ナイロビ近くの動物孤児院-動物に触れあえるのもアフリカの魅力。



国内避難民の子どもが通うグンボ校での衛生教育。

*本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金や個人・法人のみさまによる寄付金により実施しています。